

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年 3月 26日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		各スタッフとの距離感を含め利用者の居心地の良い空間を作れている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		スタッフの人員は多すぎず少なすぎず、支援クオリティをキープ出来ている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		古民家を事業所にしてるので実生活における空間を再現し、実践的なものとなっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		毎日の清掃活動に加え、一階をメインの活動空間としつつ、静かに過ごしたい子供たちのために二階を設けている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		2階が静かに出来る場所を確保し個別でも使用できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		業務終了後に毎日職員同士でミーティングを行い、積極的に意見交換を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		些細なこともヒアリングし、保護者の意見を積極的に取り組んでいる。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			機会はないが日常的にコミュニケーションをとっており業務改善は行っているが今後は業務改善会議も設けていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9		本社の職員からの評価をしてもらっているが地域方々の評価も考えていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		確保されている。定期的に研修に参加している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		保護者とも連携し公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		保護者はもちろん相談員や学校との連携を主においている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		日頃の子どもたちの様子をスタッフ間でよく話し合い保護者の思いや学校生活も踏まえた見立てを考慮している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		データよりも実際に接したその日の空気や子供の様子を優先してアセスメントを実施している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		適切な支援を多角的に協議実施している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		集団鼓動を軸に様々な体験を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		強制させないで団体行動と自主的行動のバランスを重視している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			

	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		6か月ごとのモニタリングより意思決定を重きにおき、スモールステップでおこなっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	9			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		意思決定を最大限に重視している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		常にスタッフと連携している。また、参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			地域の保健と医療の連携は直に取れていないので今後の課題とする。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9			保護者からのモニタリングのみなので今後連携していきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		相談支援事業所と連携を取り、また研修会で知り合った就労支援等の事業所と情報を頂いている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9			今後検討する
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9		地域のボランティアや地域の子ども達にも気軽に来てもらえる環境を整えている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9		毎年、参画している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		日頃から保護者とも連絡を取り、話しやすい雰囲気を作っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		請求時に研修や講演会の案内を届けている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		個別ヒアリング等を含め、積極的に実施している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		保護者のモニタリングもだが本人にも目標ややりたい事を具体的に聞き取りをおこなっている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		困り事や悩みは事業所に来所してくれる。また電話対応も気軽に相談しやすいように配慮をおこなっている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9			親の会を毎年しているが働いていることもあり人数が減ってきているのが現状。きょうだい同士の交流も視野に入れた家族会も開催したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		SNS（インスタグラム）を中心に行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		徹底管理している。常にセキュリティを改善し続けている。	
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9				
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		地域のボランティアの方の絵本の読み聞かせや英会話、色彩の勉強、大字のクリスマス会に参加したり事業所に来てもらって交流を図っている。		
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		消防署の方に来てもらい消火器訓練を行っている。		
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9				

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		当該者においては密に連絡をとりスタッフ間も共有してもらっている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		年に1回必ずおこなっている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			安全確保は描いているがその内容を家族へ周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		事故事例を共有して徹底している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		研修等を徹底して対応している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9			